

まあ、いいか...

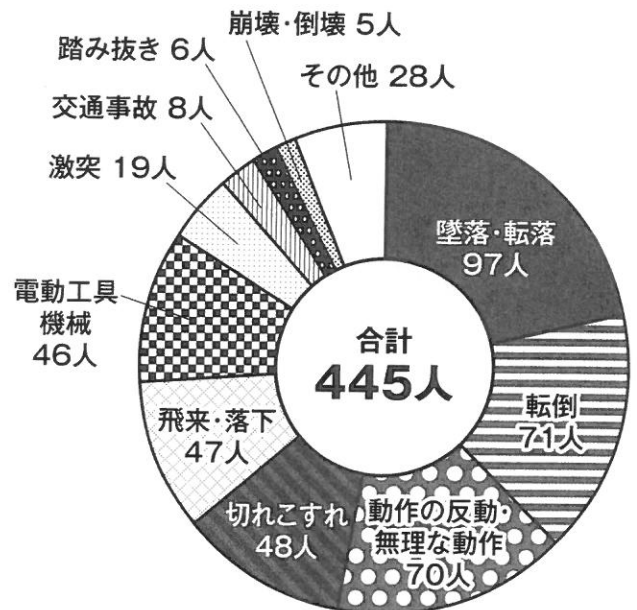
そんな気の緩みが深刻な事故を起こします

2016年に三重建労の組合員に起こった労災事故のうち、休業4日以上之死傷者数は445人でした。原因別では「墜落・転落」、「転倒」、「動作の反動・無理な動作」が3大原因となっています。中でも墜落・転落は、重篤な災害になる割合が高く、命を落とすことにもなりかねません。

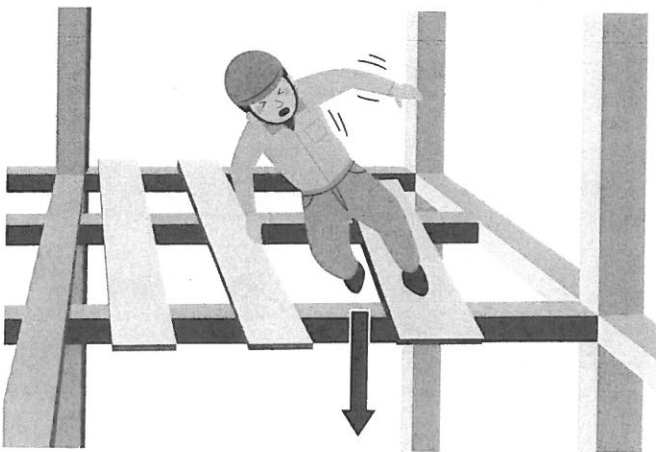
面倒だから・・・と、安全带をつけない、階段を使わずに足場伝いに降りる、足場板を結束しない、といった楽をするための気の緩みが深刻な事故を起こします。

年末の繁忙期を迎えます。気を緩めることなく、安全用具の正確な着用、安全設備の正しい使用を徹底しましょう。

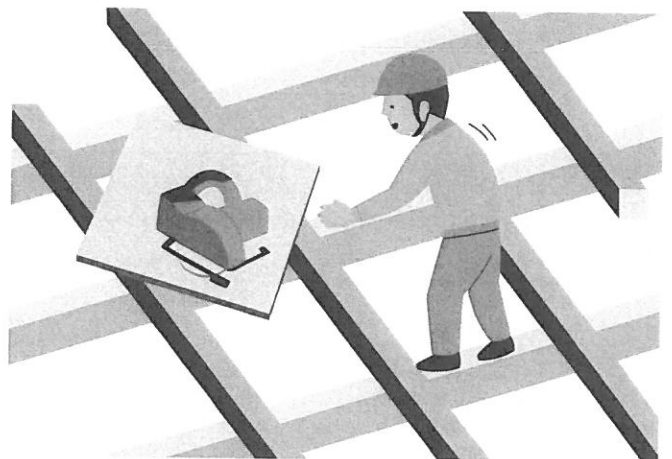
休業4日以上之死傷者数【原因別】



〈災害事例〉



木造2階床梁の足場上で墨出し作業中、墜落



木造家屋の屋根に垂木を取り付ける作業中、墜落

※厚生労働省データ事例より

建設業では、墜落・転落・転倒による災害が多く発生しています

原因を分析すると、「防護装置の欠陥」・「作業方法の欠陥」・「物の置き方・作業箇所の欠陥」が多く見受けられ、「危険な場所への接近」・「作業方法の欠陥」・「誤った動作」・「保護具・服装の誤り」が上位にあげられます。墜落・転落・転倒 災害防止を考えていきましょう。

墜落・転落災害を防ぐには

災害防止の心がけ

- ①絶対に無理な行動や自己中心的な行動をとらない
「絶対にケガをしない、させない」意識
- ②危険を危険と感ずる感受性を高める
- ③安全の確保には、妥協しない

墜落・転落災害防止の心がけ

- ①安全な通路と作業床の確保が災害防止の決め手
- ②作業手順を理解して、守る（高所作業での手抜きは危険）
- ③作業を行う場所は、常に整理・整頓

脚立からの災害防止

設備・管理・作業方法について

- ①水平で段差のない、堅固な安定した床面に設置する
- ②脚部に滑り止めの付いているものを使用し、
開き止め金具を確実にロックする
- ③天板より2段目以下の踏さんに足を置き作業する
- ④脚立の作業箇所周辺の整理・整頓をする
- ⑤順守事項は、脚立に表示し、周知する

脚立作業の禁止事項

・天板上での作業厳禁
・脚立上で、力を入れる作業
・脚立上で、身を乗り出して作業
・踏さん上で、つま先立ちで作業
・開口部、作業床の端の近くに脚立を設置して作業
・足場、ゴンドラ、庇で脚立を使う作業
・脚立を壁に立てかけ、踏台として使用(用途外使用)
・はしご兼用脚立の背面側を使用しての作業

脚立作業の災害

頭の高さは、脚立(乗っている踏さん)の高さ+自分の身長です。

